

## アンネ・フランク・パネル展実施報告

福岡大学人文学部 伊藤亜希子

### 1. パネル展実施の概要

開催期間：2015年11月30日（月）～12月12日（土）10:00～18:00

場所：福岡大学文系センター棟プラザ 50

主催：福岡大学人文学部教育・臨床心理学科、福岡大学人文学部ドイツ語学科

後援：福岡大学人文学部

### 2. パネル展に関連した取り組み

報告者が以下の授業を実施した。

- ①「過去」と「現在」をつなぐアンネ・フランク～Anne Frank Zentrum Berlin の教育活動～

日時：2015年11月18日（水）

対象：ドイツ語学科全学年

- ②アンネ・フランク～彼女の生きた時代と日記が語るもの～

日時：2015年11月27日（金）

対象：教育・臨床心理学科「教育学概論Ⅱ」受講者

- ③「過去」と「現在」をつなぐアンネ・フランク～Anne Frank House/Anne Frank Zentrum の教育活動～

日時：2015年12月3日（木）

対象：教育・臨床心理学科「学習方法開発論」受講者及び聴講希望の教育・臨床心理学科の学生

- ④アンネ・フランクを通して異文化理解と偏見を学ぶ

日時：2015年12月10日（木）

対象：教育・臨床心理学科「学習方法開発論」受講者

- ⑤アンネ・フランク・ハウスの紹介

日時：2015年12月8日

対象：中村学園大学短期大学部語学研修参加者

※ロンドン語学研修の行程にアンネ・フランク・ハウス訪問が入っているため。

どの授業においても、「アンネ・フランクについて知る」ということに留まらない、アンネ・フランク・ハウスが本来意図する巡回パネル展の目的、開催に関わりヨーロッパで展開されている教育活動、パネルの内容について説明を行った。④の授業では、ヨーロッパの取り組みを参考に、日本の高校生を対象にしたアンネ・フランクに関わる授業開発を共同実践研究として報告者が行っていたことから、この授業を受講生に体験させ、その翌週にこうした素材を活用した授業づくりについて講義を行った。

その他、ドイツ語学科の教員や本学部英語学科のネイティブ教員が授業中に受講生と一緒にパネル展を観覧し、授業に取り入れていた。

### 3. 来場者の感想

会場のメッセージノートに残されたメッセージの一部を下記に抜粋する。

- ・ アンネ・フランクの隠れ家での生活やホロコーストについての知られざる事実等、戦争が私たちにもたらすものを踏まえて、今当たり前のように平和があることを意識し、周知させなければいけません。
- ・ アンネ・フランクについて改めて深く知ることができました。ユダヤ人が受けた差別を今の社会でもきちんと考えて一人一人が責任を持つことが大切だと思った。
- ・ アンネ・フランクについて詳しく知ることができてよかった。今も人種差別がなくなっているわけではないので、自分たちも考えなくてはならないと思った。
- ・ この展示を通じて、社会の少数派の人権を守ることの重要性を改めて感じました。
- ・ アンネ・フランク・パネル展を開催してくださり、ありがとうございました。フランス、パリでのテロが起き、移民問題や人種差別について調べていたので、とてもためになりました。事実を知るとはときに心が痛みますが、よりよい世界のために知り続けなければと思いました。ドイツに行ったら、アンネ・フランクに関わる場所などにも行ってみたいと思います。世界の平和について、きちんと一人一人が向き合わなければいけない時だと思います。

### 4. その他

今回のパネル展については、朝日新聞（2015年12月2日（水）朝刊地域欄）毎日新聞（2015年12月5日（土）朝刊地域欄）、NHK福岡放送局（2015年12月4日（金）ローカルニュース）で取り上げていただき、一般の方にも多く足を運んでいただいた。

### 5. 写真

